

社会資本総合整備計画 事後評価書													令和07年10月17日		
計画の名称	木更津市宅地耐震化推進事業（防災・安全）														
計画の期間	令和05年度 ～ 令和05年度（1年間）											重点配分対象の該当		○	
交付対象	木更津市														
計画の目標	大地震時における滑動崩落による宅地の被害を軽減するため、大規模盛土造成地の安全性把握調査を実施する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		10	A	10	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R5末
1	第二次スクリーニング計画に基づき、大規模盛土造成地の安全性を把握することを目的とする。			
	第二次スクリーニング計画に基づき1箇所の盛土造成地において地盤調査等を行い、安全性の把握調査を実施する。 （事業の実施率）＝（地盤調査等を実施した大規模盛土の箇所数）／（第二次スクリーニング調査対象の大規模盛土の箇所数）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	木更津市	直接	木更津市	－	－	大規模盛土造成地の変動 予測調査（木更津市）	第二次スクリーニング調査	木更津市	■					10		－
		大規模盛土造成地の変動予測調査（木更津市）第二次スクリーニング調査																	
											小計						10		
											合計						10		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
木更津市都市政策課により事後評価を実施	令和7年7月
	公表の方法
	木更津市ホームページ掲載により公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	木更津市内の「大規模盛土造成地」のうち、詳細な調査を必要とした盛土（大久保四丁目、五丁目）について、地質調査（ボーリング調査）や土質試験、地下水位観測等を行った結果、盛土の滑動崩落が生じるおそれが小さいと評価しました。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
今後は、全ての大規模盛土について国が定めた「経過観察マニュアル」に基づき経過観察を行い、新たに変状等が確認された場合などには、第二次スクリーニングの実施の必要性や時期を検討する。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	